

地震ハザードマップとは

地震ハザードマップとは、地震災害に関する情報と避難方法などを市民のみなさんに提供することにより、日頃からの防災意識を高めるとともに、いざという時に避難行動がスムーズに行われ、被害を最小限にすることを目的とした地図です。埼玉県が想定した5地震8パターンによる地震動を重ね合わせて最大の地震動を算出した結果をもとに、久喜市地震ハザードマップとして作成しています。

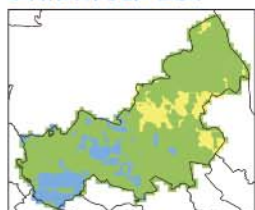


埼玉県地震被害想定調査について

埼玉県は、東日本大震災を踏まえ平成24・25年度に新たな地震被害想定調査を実施しました。首都直下地震に係る最新の科学的知見や埼玉県における過去の被害地震を踏まえ、5つの地震（活断層による地震動の推計は、地震による破壊開始の始まる位置の設定で、震度分布が大きく異なるため複数パターンを想定）を想定地震として、地震に関する項目、それによる各種の災害、被害、影響などを予測しました。

海溝型地震

茨城県南部地震



- 海溝型地震
 - マグニチュード7.3
 - 久喜市における最大震度：6弱
- フィリピン海プレート上面の震源の深さに関する最新の知見を反映。今後30年以内に南関東地域でM7級の地震が発生する確率：70%

東京湾北部地震



- 海溝型地震
 - マグニチュード7.3
 - 久喜市における最大震度：5強
- フィリピン海プレート上面の震源の深さに関する最新の知見を反映。今後30年以内に南関東地域でM7級の地震が発生する確率：70%

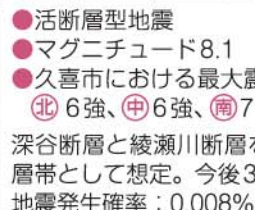
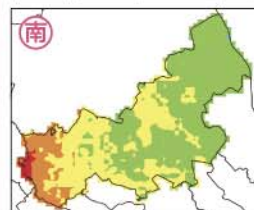
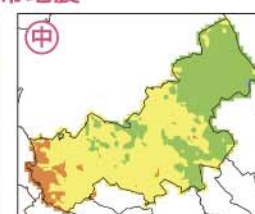
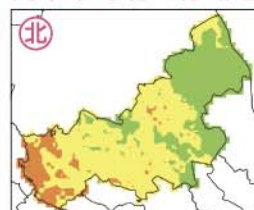
元禄型関東地震



- 海溝型地震
 - マグニチュード8.2
 - 久喜市における最大震度：5強
- 1703年に発生した、首都圏に大きな被害をもたらしたとされる巨大地震（マグニチュード8.0）を想定（相模湾～房総沖）。今後30年以内の地震発生確率：ほぼ0%

活断層型地震

関東平野北西縁断層帯地震



- 活断層型地震
 - マグニチュード8.1
 - 久喜市における最大震度：北6強、中6強、南7
- 深谷断層と綾瀬川断層を一体の断層帯として想定。今後30年以内の地震発生確率：0.008%以下

立川断層帯地震



- 活断層型地震
 - マグニチュード7.4
 - 久喜市における最大震度：北5弱、南5弱
- 最新の知見に基づく震源条件により検証。今後30年以内の地震発生確率：2%以下



地震ハザードマップの使い方

大きな被害をもたらす地震から、人命・財産を守るためには日頃の準備が必要です。このマップを使って家族で話し合い、普段から目につきやすい場所に保管しましょう。

- まず、自宅の位置に印をつけましょう
- 次に、自分たちの避難所に印をつけましょう
- 更に、避難経路を実際に歩いて確認しましょう
- 住宅の耐震補強等を行いましょう

●避難には地域のみなさんの協力が大切です。地域の方々で災害や避難について話し合い、情報を共有しましょう。また、災害時に配慮が必要な方々に対して地域でできることを考え、みなさんの安全が確保できるようにしましょう。

地震のメカニズム

地震発生のしくみ

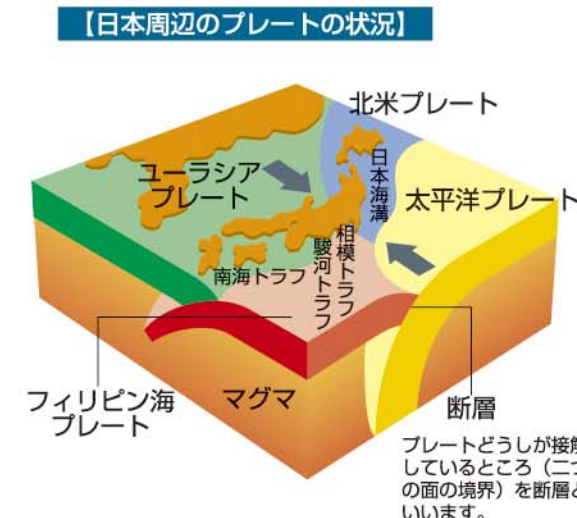
日本列島の周辺には4つのプレート（板状の堅い地殻）があり、年に数センチの速度で一定の方向に動いています。プレートどうしの運動により、プレートの境界や周辺で生じる「ひずみ」が地震を引き起こす原因です。日本では主に海溝型と活断層型の2種類の地震が起きています。

海溝型地震

海洋側のプレートの潜り込みにより大陸側のプレートが引きずり込まれ、境界にひずみがたまり、限界に達すると元に戻るうとしてはね上がり、地震が発生します。

プレート間地震
…「平成15年十勝沖地震（マグニチュード8.0）」など

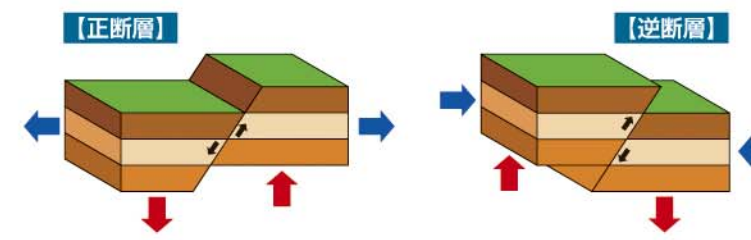
プレート内地震
…「平成6年北海道東方沖地震（マグニチュード8.2）」
「平成23年東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）（マグニチュード9.0、国内観測史上最大）」など



活断層型地震

陸地の地殻もプレートの運動によりいたるところで「ひずみ」が生じています。このひずみを解消するため、過去の地震により生じた断層（活断層）を震源として地震が発生します。

「平成7年兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）（マグニチュード7.3）」「平成16年新潟県中越地震（マグニチュード6.8）」など。



マグニチュードと震度

マグニチュードと震度の関係は、電球の明るさと机の上の明るさの関係に例えることができます。同じ電球からの光でも、机がどの位置にあるかで机の上の明るさは異なるように、マグニチュードが同じ地震であっても、震源が遠ければ震度は小さく、震源が近ければ震度は大きくなります。

マグニチュードとは？

マグニチュード（以下Mと表記）は、地震の規模を表す単位です。関東大震災はM7.9、阪神・淡路大震災はM7.3、東日本大震災はM9.0（日本観測史上最大）でした。Mが0.2大きくなると地震のエネルギー規模は約2倍に、またMが1大きくなると約32倍になります。



震度とは？

震度は地震の際の各地点の揺れの大きさを表します。ある地点が実際にどう揺れるかは、地震のエネルギー規模だけでなく、震源からその地点までの距離、地盤条件等に左右されます。